2026年
春号

ハートネット
かずさのみち

よつばちゃん
市社協イメージキャラクター

【発行】ちはら台地区社会福祉協議会　〒290-0142　市原市ちはら台南6-1-4　電話(Fax)0436-37-1326

令和７年度ちはら台地区社会福祉協議会の活動

日頃より、ちはら台地区社会福祉協議会の活動に御理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。ちはら台地区社会福祉協議会は、地域にお住まいの皆様の福祉の向上を図るため、「第２次ちはら台地区福祉行動計画」（令和５年度～令和８年度）の活動方針を基本に地域に根ざした組織として活動しています。

令和７年度につきましては、例年の活動に加え、今年度の重点事項でありました「子どもの居場所づくり」として、中学生の学習支援事業「寺子屋ちはら」及び小学生の居場所づくり「子どもカフェ」を立ち上げました。

今回のかずさのみちは地区社協の令和７年度の活動として、新規事業及びイベントについてお知らせいたします。

ちはら台地区社会福祉協議会　会長　元起裕一

【１】令和７年度　新規事業

【子どもの居場所づくり】

① 寺子屋ちはら

地域の中学生が安心して学び過ごすことの出来る場所として、学習サポート教室「寺子屋ちはら」をちはら台地区自治会連合会の後援をいただいて開設しました。令和８年１月から実施し、３月までは１・２年生だけの試行期間で、講師は地域のボランティアのサポーターにお願いしています。運営が順調なことから４月以降は新１年生１０名を加え本格実施する予定です。



② 子どもカフェ

子供の居場所づくりの一環として小学生が気軽に立ち寄れて、遊んだり、宿題をしたり、休んだりできる場所を用意しようと考え、昨年の１０月・１２月にサウスヒルズ自治会の協力を得て、サウスヒルズ集会場で「子どもカフェ」を試験的に実施しました。その結果１回目は７９人、２回目は５５人と多くの小学生が集まり大盛況でした。ただ人数が多く集会場の管理の問題が発生したため、令和８年度は「キッズアベニュー２」自治会の協力を得て、同自治会集会場で開催を計画します。



【２】令和７年度主な活動（イベント）

【夏の演奏会】

７月１９日（土）ちはら台コミュニティセンターで、「Prime（プライム）楽団」を招き、演奏会を開催しました。
「ダイアナ」「サボテンの花」「木綿のハンカチーフ」などの懐かしいポップスを演奏いただきました。
フラダンスの披露もあり、来場いただいた皆様からは『良い曲を聴いた』、『楽しかった』等多くのお言葉をいただきました。
ご出演いただいた皆様、ご来場いただいた皆様、ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。



【福祉バザー】



１１月２日（日）、ちはら台コミュニティセンター文化祭において福祉バザーを開催しました。これは毎年、共同募金会の「歳末たすけあい運動」への協力として、住民の皆様からご寄付をいただいた物品等により運営されています。その収益金については、地域で生活する誰もが、安心してあたたかいお正月を迎えられるように使用されています。また、昨年度に引き続きSDGsの取組みである『制服リユース』も、盛況で終えることができました。皆様のご協力に感謝いたします。

【福祉のつどい】

１１月１６日（日）、ちはら台コミュニティセンターにて、住民の皆様の福祉に対する知識を増進するとともに、社会福祉協議会への理解を深めていただくために、「福祉のつどい」を開催しました。
今年度は必要時に役立つ３つのテーマ『成年後見』、『相続』、『新地域包括センター』で、講演いただきました。来年度はもっと身近なテーマで案内しますので、是非、ご参加ください。



【市社協 災害ボランティアセンター設置運営訓練】

１月３１日（土）、辰巳公民館にて、市津・辰巳台地区社協と共同で、災害ボランティアセンター設置運営訓練を実施しました。市原市地域防災計画に基づき、災害により極地的に甚大な被害が発生した場合、市原市、市社協と連携して、『サテライト災害ボランティアセンター』を設置・運営することになっています。受付・マッチング・資機材班等役割に応じて、演習を実施しました。初めての訓練でもあり、慣れないことが多くありましたが、災害時でも住民が安心して暮らすことのできる地域づくりを目指し、今後に活かしていきたいと思います。

